

令和7年度

学校評価



令和8年3月

山梨市立日下部小学校

令和7年度学校評価の概要について

■ 1 学校評価のねらい

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

※ 学校評価は、あくまでも学校運営の改善による教育水準の向上を図るための手段であり、それ自体が目的ではない。学校評価の実施そのものが自己目的化してしまわないよう、地域の実情も踏まえた実効性のある学校評価を実施していくことが何よりも重要である。

■ 2 学校評価の実施手法

- 自己評価：教職員による評価（Forms を利用した回答と分析）
（児童・保護者を対象に行うアンケート（Forms）を行い、学校評価に活用する）
- 学校関係者評価：PTA運営委員会、学校運営協議会による学校運営に対する意見交換
（自己評価結果の公表と評価 それに基づく次年度経営方針の承認）
- 第三者評価：第三者（当事者・関係者でない者）による評価

■ 3 学校評価の年間計画

- (1) 自己評価、児童・保護者アンケートを実施し、結果を考察する。
- (2) 改善点を明確化・焦点化し、改善策を立案・実施する。
- (3) 設置者（市教委）に報告する

ア→アンケート実施 分→教職員による結果の共有・分析→改善策の立案・実施

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
教職員				ア	分						ア	分
児童				生活 ア 分			生活 ア 分	ア	分		生活 ア 分	
保護者								ア	分			
PTA CS											P運営 委 CS	報告

学校評価 アンケート項目



令和7年度学校評価評価項目

教職員評価項目

A:十分にできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:できていない

★:主語は「学校は」と読み替える。

項目	No	評価
学校経営・組織	1	学校経営方針（グランドデザイン）に基づく教育活動を推進している。
	2	★教育目標の具現化に向けて、組織的・機能的に取り組むよう努めている。
	3	安全・安心な学校環境づくりに向け、課題改善を進め、危機管理体制の充実に努めている。
	4	働き方改革も含めた持続可能な学校教育を創造する意識を持って、職務遂行にあたっている。
	課題・意見	
確かな学力	5	主体的・対話的で深い学びの充実に向け、ICT機器を活用した授業づくりに努めている。
	6	授業に有機的に結び付けられるよう、家庭学習（宿題や課題）の充実に図っている。
	7	★特別支援教育、通級指導の充実に努め、組織的に連携した教育を推進している。
	8	学校図書館を利用し、読書を通じた国語力の向上につながるよう努めている。
	課題・意見	
豊かな心・望ましい集団	9	いじめ防止基本方針を理解し、それに基づいた取り組みを推進している。
	10	児童の共感的理解に努め、愛情と信頼に基づく生徒指導に努めている。
	11	SOSの出し方に関する教育の実施や生活アンケート等を通じ、関係機関とも連携した組織的支援の充実に努めている。
	12	体験的活動を重視し、思いやりの心や公德心を育む道德教育の充実に努めている。
	13	児童会活動や清掃活動、当番活動等を通して自主性、社会性、協調性の育成に努めている。
	14	明るく爽やかなあいさつ、場に応じた言葉づかい等、美しい言語表現の育成に努めている。
	15	学級力向上プロジェクトを活用し、望ましい学級集団・学習集団の形成に努めている。
課題・意見		
健やかな体	16	生活の安全、交通安全、防災等の安全教育に取り組んでいる。
	17	家庭との連携による基本的な生活習慣の育成に努めている。
	18	楽しみながら自ら体を鍛える継続的な「健康・体力づくり」に取り組んでいる。
	課題・意見	
地域・社会に開かれた学校	19	地域や保護者の学校教育参画促進のため、学校運営協議会の理解を深め活動が充実するよう努めている。
	20	地域人材を生かした教育の推進に努めている。
	21	★地域や保護者に学校の教育活動について発信するよう努めている。
	22	★安心・安全な学校・地域を目指し、地域・保護者との連携に努めている。
	課題・意見	
全体	意見等	

令和7年度学校評価評価項目

保護者評価項目

A:そう思う B:ややそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:わからない

項目	No	評価
学校経営・組織	1	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。
	2	学校は、自ら考え、進んで学習する子どもの育成を目指した教育をしていると思いますか。
	3	学校は、防災防犯などの危機管理に努め、自ら命を守る子どもの育成を目指した教育をしていると思いますか。
確かな学力	4	学校は、積極的にICT機器の活用を進め、確かな学力の育成に努めていると思いますか。
	5	学校は、個に応じた教育の充実のため、職員同士が連携して教育を進めていると思いますか。
	6	お子さんは、すすんで読書をしていますか。
	7	お子さんは、家庭学習（宿題・10分読書・自主学习）に進んで取り組んでいますか。
豊かな心・望ましい集団	8	学校は、いじめの早期発見に努め、いじめをなくすための指導に努めていると思いますか。
	9	学校は、思いやりの心や公德心を育む道德教育の充実に取り組んでいると思いますか。
	10	学校は、様々な体験活動を通して、自主性や社会性、協調性を育む教育に取り組んでいると思いますか。
	11	お子さんは、あいさつや返事などがしっかりできますか。
	12	子どもの生活や学習のことで、学校や担任の先生に気軽に相談ができますか。
健やかな体	13	学校は、家庭と連携を取りながら、基本的な生活習慣の育成に取り組んでいると思いますか。
	14	学校は、児童が楽しみながら健康・体力づくりに励むよう取り組んでいると思いますか。
地域・社会に開かれた学校	15	学校は、地域や保護者が学校教育へ積極的に参加するよう推進していると思いますか。
	16	学校は、地域の人材等を生かした教育の推進に取り組んでいると思いますか。
	17	学校は、学校での取組を積極的に家庭や地域に発信していると思いますか。
	18	学校は、児童の安心、安全の確保のために、家庭や地域との連携に取り組んでいると思いますか。
全体	意見等	

**令和7年度学校評価評価項目
児童評価項目**

項目	No	評価
学校経営・組織	1	あなたは、楽しく学校に通っていますか。
	2	あなたは、地震が起きた時や不審者にあった時に、正しく行動できると思いますか。
確かな学力	3	あなたは、読書をしていますか。
	4	あなたは、家庭学習（宿題・10分読書・自主学習）をしていますか。
	5	あなたは、授業で、自分で考えたりすすんで学習に取り組んだりしていますか。
豊かな心・望ましい集団	6	あなたは、あいさつや返事をしっかりしていますか。
	7	あなたは、いじめをせず、友だちと協力したり、仲良くしたりしていますか。
	8	あなたは、交通ルールや学校の決まりを守るようにしていますか。
	9	あなたは生活や学習のことで、担任の先生や学校の先生方に気軽に相談できますか。
健やかな体	10	あなたは、進んで運動したり外で遊んだりしていますか。
地域・社会に開かれた学校	11	あなたは、家の外で安心して遊んだり、安心して登校や下校していますか。

学校評価

評価結果



令和7年度 日下部小学校の教育
教職員自己評価の結果

令和7年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案

学校経営・組織

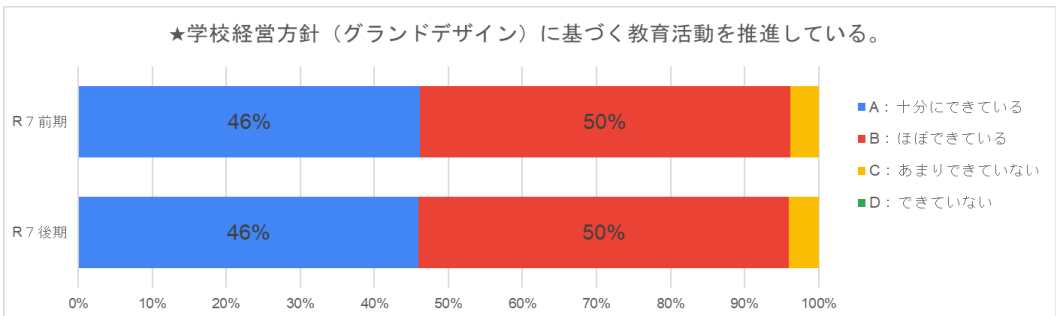
分析・立案担当： 校長 教頭 岩下

良い点		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校長の学校経営方針、グランドデザインのもと、教育目標の具現化に向けて、全教職員が同じ方向を向いて取り組んでいる。 ・ 防犯教室の早期の実施、正面玄関、児童玄関の施錠などで教職員の危機管理意識が高まり、安心、安全な学校づくりの評価が高くなっている。 ・ フォームでの欠席連絡、18時以降の電話連絡の停止などが保護者にもだいぶ浸透してきている。 		
課題点	改善策	取り組み
働き方改革の更なる推進。 教育ファームの2年生の負担軽減。	働き方改革の具体例を示す。 先生方からも働き方改革のアイデアを出してもらおう。	できそうなことから少しずつ実践していく。

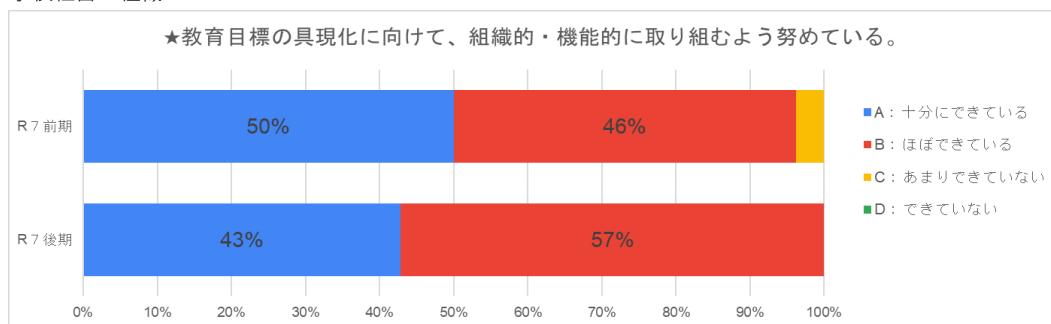
以下は後期自己評価後に記入

成果	課題点	次年度の方向性（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育ファームの取組、保護者の落ち葉掃きボランティア、留守番電話の導入等により徐々にではあるが、働き方改革が進んできている。 ・ 教育目標の具現化に向けて、全教職員が同じ方向を向いて積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ より働きやすい環境づくりの推進。 ・ 全職員で施錠など、危機管理に対して高い意識を保つようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グランドデザインを全教職員に確実に浸透させ、学校教育目標のより確実な達成に向けて、校務分掌を再編し、より組織的、機能的に教育活動が推進できるようにする。 ・ 様々な場面を想定した避難訓練、防犯訓練などを早い時期に実施する。 ・ 学年、ブロック等で連携をより密にしながら役割分担を明確にし、働き方改革を意識し、校務に取り組む。

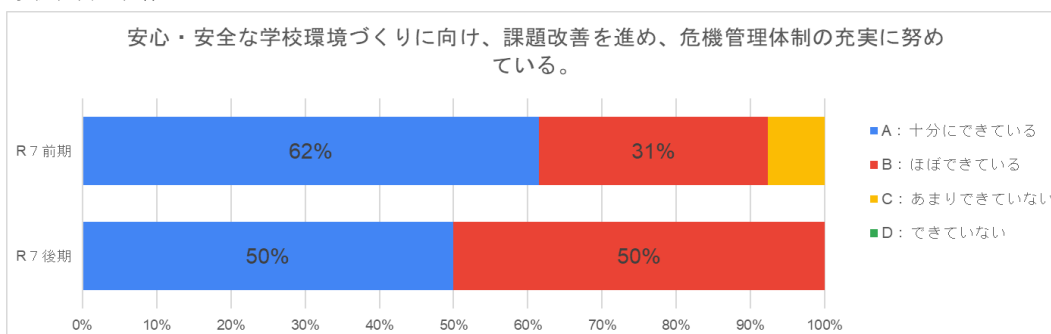
学校経営・組織 1



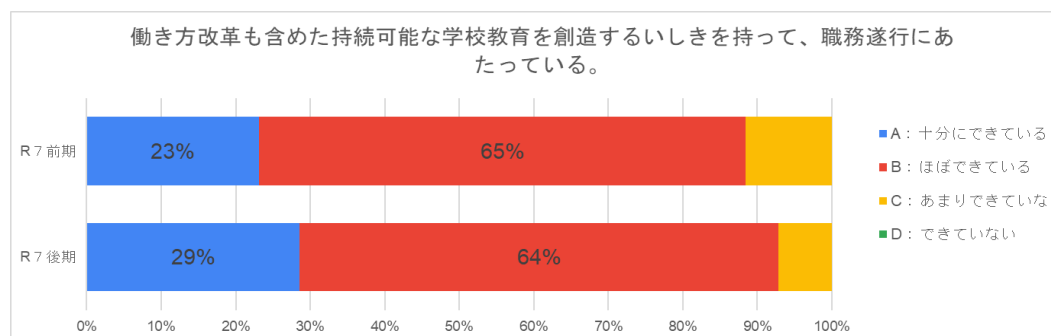
学校経営・組織 2



学校経営・組織 3



学校経営・組織 4



学校経営・組織 課題・意見 (前期)

- ・夕方、畑の水やり等削れない業務に時間が割かれている現状があります。持続可能ではないと感じています。
- ・休みの際の自習体制をしっかりと整えていただきありがたいです。
- ・不審者対策等も対応されてきている。
- ・働き方改革を進めたいが、多忙でままならない。
- ・学校目標が達成されるように職員が努めている。玄関を閉めるようになったが、外部からの侵入を防ぎきれず安全面で心配。働き方改革が進んでおらず、教員の仕事内容をもっと取捨選択すべき。
- ・持続可能な学校教育について。学校現場という性質上、時間外の勤務になることも多いですが、優先順位をつけた仕事の仕方を以前より意識しています。6時以降の電話ですが、留守電に切り替わることを願っています。そうなることで、保護者の方もわたしたち職員自身も、教職員の労働時間について意識が高まるのではないかと考えます。
- ・終礼の頻度が多いと感じます。校務支援のメッセージで連絡を済ませられることが多くあると思います。
- ・働き方改革も含めた持続可能な学校教育を意識して職務に当たっています。まだ十分ではありませんが、今後も意識するとともに具体的な取り組み案を出し合いながら改善に努めたいと思います。
- ・必要に応じて、ケース会議を行ったり、運営委員会をおこなったり、対応も組織的に行うよう意識している。報告連絡相談もできるようになっている。

学校経営・組織 課題・意見（後期）

- ・働き方改革のために、終礼を減らし、メッセージやチャットを用いる。学校集会が多く、中休みがつぶれてしまい、児童にとってよくない。給食時のテレビ放送にしたらどうか。
- ・持続可能な学校のために学校は努力しようとしているが、外からの依頼や取組が増えてきているので、業務が減ったような感じはありません。また、特定の職員に負担が集中するために、業務量に差が出ているのも気になるようです。バランスよく分担ができればいいのですが、難しいことだと思います。
- ・学年や学校全体で組織的に運営できるよう努めてきたが、どうしても仕事量が多く、働き方改革の推進は滞ってしまった。
- ・若手教員がのびのびと意見を出し、失敗を恐れずに挑戦できる職場づくりについて提案いたします。教員一人ひとりが高い志を持っているからこそ、時に厳しい指摘が出ることもあるかと存じますが、それが「否定」として伝わってしまうと、特に経験の浅い層は萎縮してしまいます。「こうあるべき」という理想を伝える際にも、相手の感情に配慮した表現を選択し、まずは肯定的なフィードバックから入るようなコミュニケーションが定着することを希望します。様々な先生方の振る舞いは、若手にとって大きな指針となります。直接的かつ建設的なアドバイスが交わされる職場風土を築くことで、教員全体の学び続ける姿勢がより強固なものになると確信しています。
- ・ブロックや学年ごと教職員同士で情報を共有することで、同じ歩調での指導ができるように努力している。信頼される学校であるためには、同一歩調で組織で取り組むことが今後も必要だと感じる
- ・学校全体として、目標や目指すべき姿がはっきりしているため、達成に向けて意識して動くことができている。

令和7年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案

確かな学力

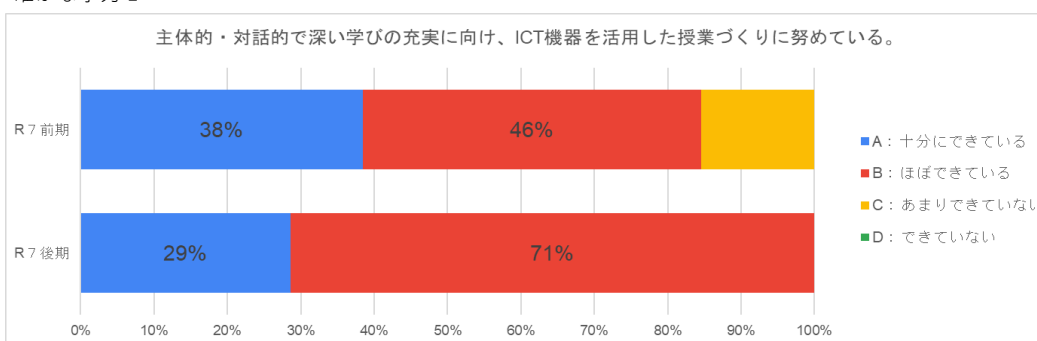
分析・立案担当： 橋本 米倉 望月 矢田 丸山 雨宮

良い点		
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関して、組織的に連携した教育を推進できている。 ・学校図書館を利用して、読書を通じた国語力の向上につながるようできている。 		
課題点	改善策	取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT機器の活用があまりできていない。(ルールやモラルの確認が必要) ・家庭学習の発達段階に応じた取り組みの仕方について、不明瞭なところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが学びの主体となるような授業づくりを各学年の実態に応じた実践できるようにする (ICT機器の活用や学級づくりも一つの手段として)。 ・家庭学習の発達段階に応じた取り組み方法を見直す(スタンバイなど)。 	<ul style="list-style-type: none"> ①残り2本の校内研究の授業を通して、子供たちが主体となる学びについて学びを深める。 ②各学年・ブロックで授業づくり・ICTの活用・学級づくり・家庭学習について情報共有する。(学年で同じ作成物を活用できる場合は活用し、次年度につなげていく)

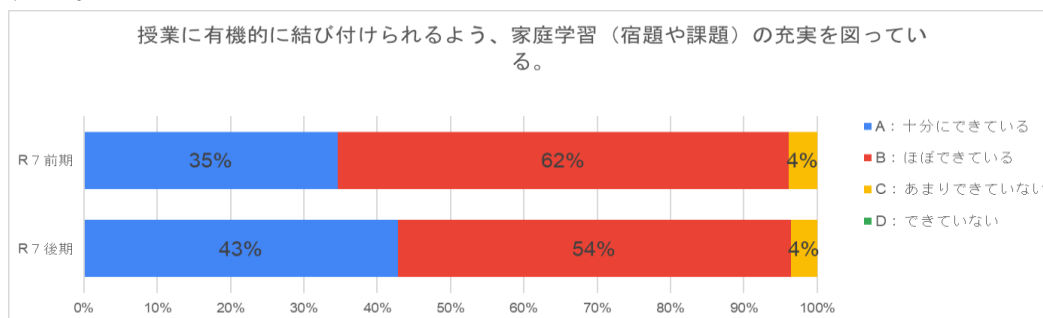
以下は後期自己評価後に記入

成果	課題点	次年度の方向性（案）
<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用については、前期よりもプラスとなっている。 学校図書館の活用も前回よりA・Bの割合が高くなった。 特別支援や通級の職員と共通理解を図り、様々な児童に柔軟に対応をできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用はプラスになっているが、「有効的」な活用についてはまだ課題がある。 ICT機器の使い方について、学年などの実態に応じてバラつきがある。 家庭学習の充実について、まだ課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を「ただ使う」のではなく、「有効的に使える」ように、ブロック研究の際に情報共有できるとよい。 引き続き特別支援・通級・学級担任・管理職で連携しながら対応する。

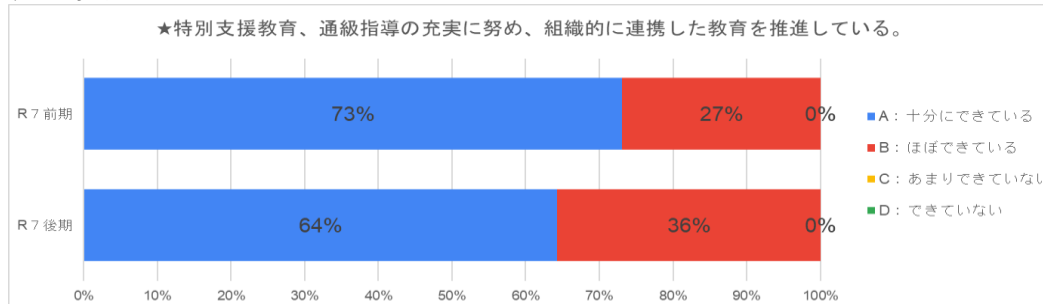
確かな学力1



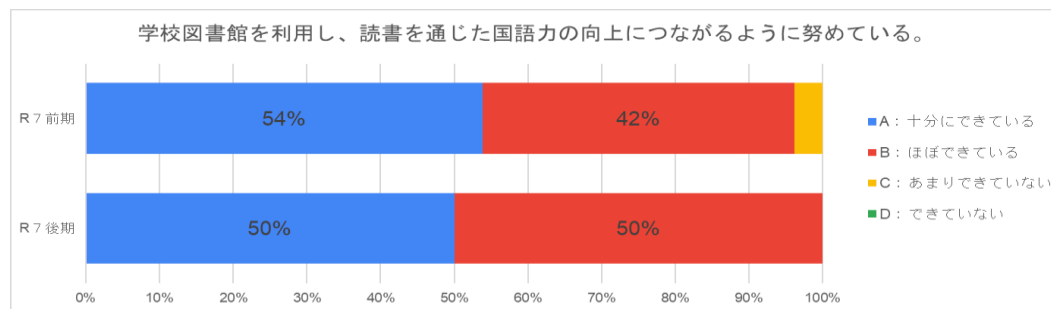
確かな学力2



確かな学力3



確かな学力4



確かな学力 課題・意見（前期）

- ・図書室・図書委員会の取り組みにより、児童がたくさん本を読んでいます。引き続き、読書活動の充実をはかっていきたいです。
- ・児童もICTに慣れているため有効的に活用しやすい環境になっていると思います。
- ・家庭学習が定着してきて、家庭の意識も高くなってきたと感じるが、学力的に難しい児童もいる。
- ・主体的に学べるよう内容に応じた学習スタイルを考えている。IC機器が目的にならないよう注意している。
- ・ICTを活用した授業について、校内研と関わって、先生方のご実践を気軽に見に行けるような機会が欲しいです。
- ・今年度、家庭学習チェックカードはなくなりましたが、スタンバイの時間を意識的に充実させることで、児童もその日の復習に意識して取り組んだり、次の日の予習まで手を付けられるようになってきました。家庭学習への誘いは、帰宅後教職員が見えてないところでもあるので引き続きの意識づけが大切だと思います。

確かな学力 課題・意見（後期）

- ・身近な内容で、琴線に触れられるような本を選び読み聞かせなどを行っている。
- ・学校図書館については、児童が多く図書に関わることができるよう様々な取り組みをしていただいて本当にありがたいです。国語の単元の関連書籍を準備して下さったり、本当にありがたいです。
- ・ICT機器の活用では、より効果的な活用の仕方がまだあると思うので、これからも学んでいきたい。
- ・家庭学習をICT活用し、児童の学習意欲を高めるとともに、働き方改革を進めたい。
- ・今年度は特別支援学級や通級へ連携がスムーズになり、子どもたちの特性に合った対応ができるようになったことに手応えを感じます。その反面、特別支援や通級の先生方の負担が大きくなったのでは、と思います。
- ・主体的で深い学びの実現に向け、ICT機器を有効的に活用できていないと感じる。子供達が主体的・対話的な深い学びができるようになるためにも、まずは、自分自身のICT活用方法の学びを深めていく必要があると感じている。
- ・図書館をよく利用している姿をみる。
- ・様々な特性を抱える児童が複数いたり、学力差等があったりする中担任の先生方が同学年をチームとし日々取り組んでいる様子が伝わってきた。その事が、年度当初に比べても落ち着いてきた要因となったと思う。
- ・特別支援学級の各クラスの人数が多く、大変な状況である。しかし、特支学級の担任が様々な学年に入って指導していただけていることで、各学年のつなぎ役を担ってくださっていると感じている。通級の先生方も、すぐに相談ののってくださり、ひじょうにありがたい。支援が必要な子供が多い状況だからこそ、組織的に取り組むことができていることが、本校の強みになっていると思う。
- ・基礎基本からICTを含めた授業改善に向け、校内研を中心に努力することができた。
- ・学校の学びをどのように家庭学習につなげるかが非常に重要であると思います。家庭学習スタンバイの在り方をもう一度、学年やブロック内で話し合い、児童が主体的に学習に取り組めるような手立てとできると良いと思う。
- ・特別支援学級や通級指導教室など児童の実態に応じた弾力的運用がされている。
- ・ICTの活用が様々な場面で見られ、子どもたちもクロムでの学習に慣れている様子がある。休み時間のクロムの使い方が、クラスや学年によってバラバラなため、改めて決められたらと思う。

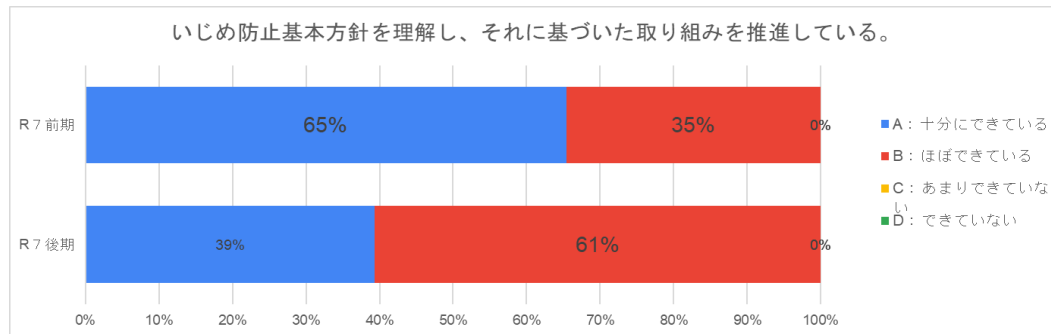
分析・立案担当： 柏原 小林 佐久間 三枝 笠井 大村 新海 鶴田真

良い点		
<p>○いじめへの対応・児童理解に対し、100%の教職員が意識して取り組むことができている。</p> <p>○生活アンケートや日々の生徒指導を丁寧に行い、児童一人一人に寄り添った生徒指導が行われている。事案発生時には、担任→学年→（生徒指導）→管理職への流れがスムーズにできているので、組織的に支援を行う体制ができている。</p> <p>○児童会活動では、6年生を中心に児童の自治的な意識を高め、望ましい行動を進んでできるよう児童会主任を中心に、全教職員で意識して指導している。</p> <p>○校内研究等を通して、学級力向上への取組が行われている。</p>		
課題点	改善策	取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・元気なあいさつのできる児童が多いが、進んであいさつのできない児童も何人かいる。 ・学級力アンケートの活用状況がやや低い傾向にある。 ・SOSの出し方に関する教育や、道徳教育への意識がやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年を手本とし、児童会執行部・生活委員会とタイアップし、児童発信の積極的な取組を継続していく。 ・ブロックを中心に、学級力アンケート等を活用し、学級力の向上を図る。 ・日々の生徒指導を生かし、SOSの出し方に関する教育や、道徳教育への意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよいあいさつができるように、児童会の「あいさつの花」の取り組みや、生活委員会が行っている玄関での朝のあいさつを引き続き行い、全校児童の意識を高める。 ・よりよい学級経営を目指した情報交換を行う。初任者研修実習校として、指導案を作成する中で児童理解を深めたり、互いの授業を参観したりして、学校全体で各学級の学級力向上を図る。 ・発達支持的生徒指導を大切に、児童の自己有用感をはぐくんだり、安全・安心な風土の醸成を行い、いつでも相談できる環境を整えておく。

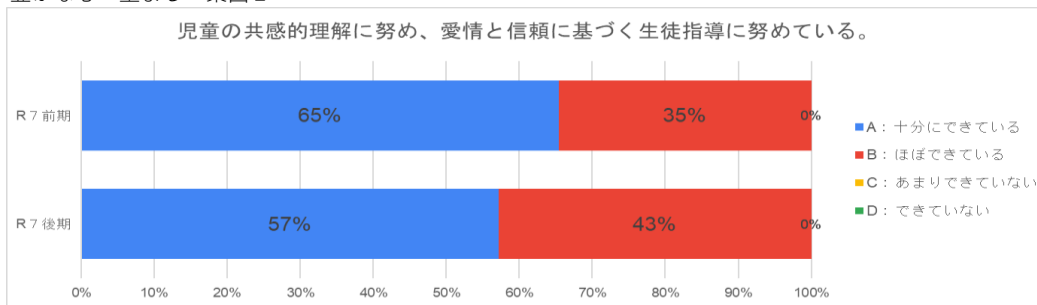
以下は後期自己評価後に記入

成果	課題点	次年度の方向性（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の取り組みや、生活委員会の朝のあいさつを引き続き行い、全校児童の意識を高めていくことができた。 ・発達支持的生徒指導を大切に、児童の自己有用感をはぐくみ、安全・安心な風土の醸成を行い、児童の心の安定につなげることができた。児童に寄り添った指導を引き続き行っていくことができるよとい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、学級力向上プロジェクトは、絶対に取り組むものという位置づけではなかったが、系統的な指導の必要性から、来年度、学校全体で取り組むものを決めたり、指導の方向性を示すものを共有したりする必要がある。 ・児童情報共有があまりなされていない現状がある。学校全体で共通認識のもと、児童理解・児童指導を行なっていくためには、情報共有を密に行うことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年を手本としながら、児童会や委員会等、児童の主体的・自主的な取り組みを推し進めていく。 ・学校全体を系統立てた指導の必要性から、学級力向上プロジェクト等、全校で取り組むものを決める。 ・学年やブロック、担任と管理職だけの情報交換だけでなく、終礼等の児童の情報交換の場面で、気になる児童についての情報を交流し合い、全校体制で児童を見ていくことができるようにする。

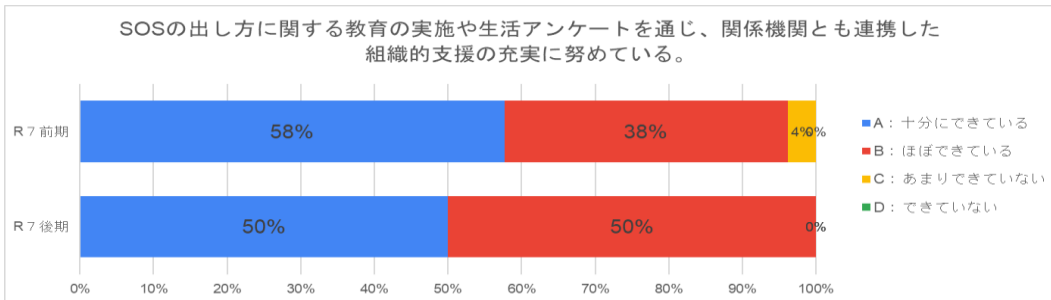
豊かな心・望ましい集団 1



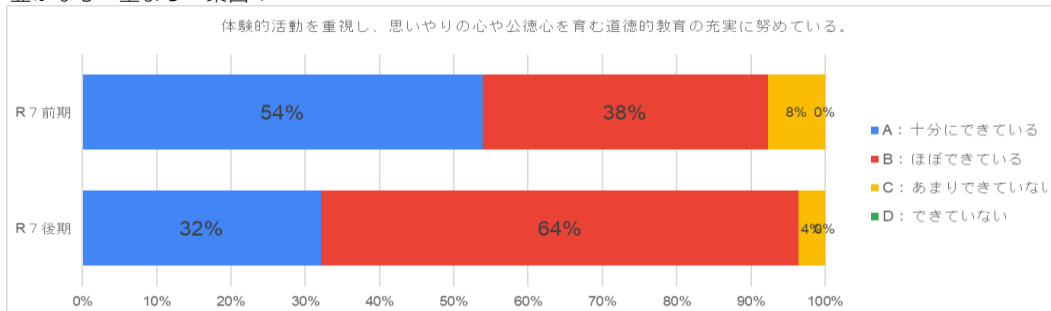
豊かな心・望ましい集団 2



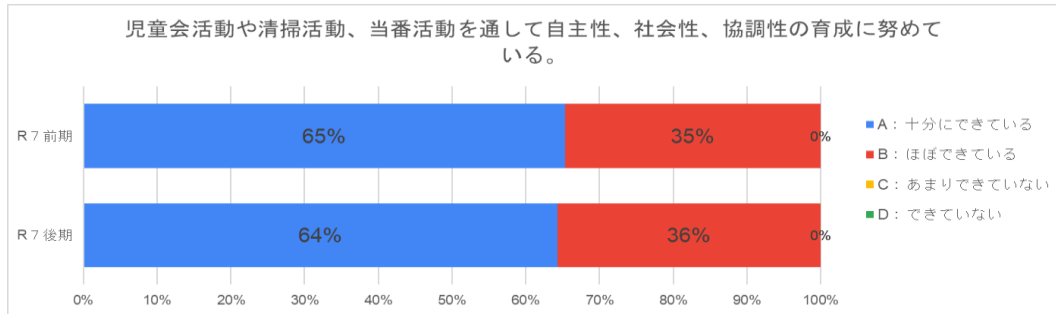
豊かな心・望ましい集団 3



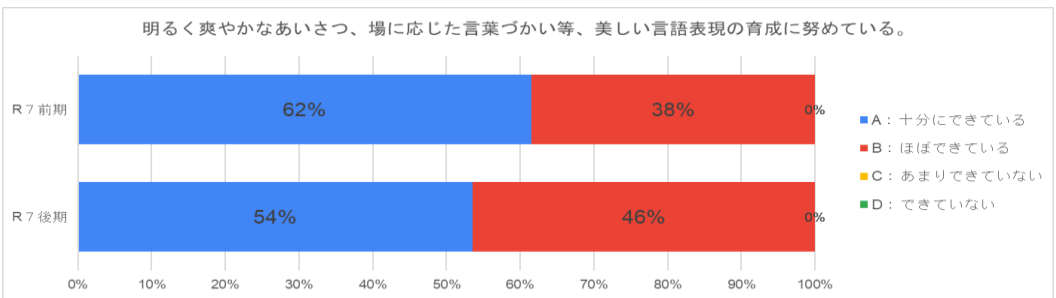
豊かな心・望ましい集団 4



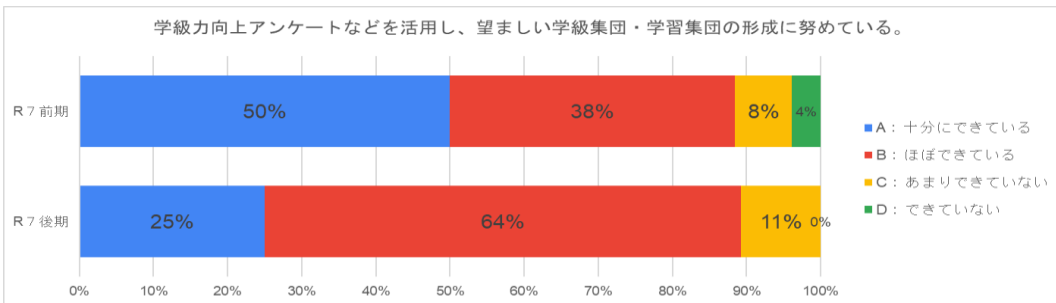
豊かな心・望ましい集団 5



豊かな心・望ましい集団 6



豊かな心・望ましい集団 7



豊かな心・望ましい集団 課題・意見 (前期)

- ・生徒指導案件が多いですが、本校や児童の課題を捉えられているということだと思うので、全職員で共通理解を図り、組織的に対応していききたいと思います。
- ・児童会活動や委員会活動が6年生を中心に積極的に行われていると感じる。6年生の最高学年としての自覚が行動に現れ、自然と下級生のお手本となっている。
- ・6年生の態度が模範的であるので、下級生がそれをお手本にすることができている。全校集会等で校長先生が全校に向けて話をされていることで意識化が図られていると思う。
- ・ルールは大切だが、若干の“あそび、も大切。ユーモアを持ち、笑顔とメリハリを大切に、児童に寄り添った指導を心掛けている。
- ・規律の中から自主性が育まれるよう、個々に応じた声かけなどを行っている。
- ・元気にあいさつをしてくれる児童が多いが、あいさつをしない児童も何人かいる。
- ・いじめに対して、担任だけでなく、学年、生徒指導、管理職と連携し、迅速に対応することができました。把握した時点で素早く共有しておくことで、今後の動きも計画的に進めることができ、とても心強かったです。
- ・機を捉え推進に努めているが、集団づくりは学校全体での共通理解も大切だと感じる。
- ・学級力向上プロジェクトやQUなどを用いて学級の実態を数値でわかるのはありがたいです。この結果を学年で交流するなどしていききたいと思います。

豊かな心・望ましい集団 課題・意見（後期）

・今年度は、学級力向上プロジェクトの位置づけとして、絶対取り組むというものでなかったのに、あまり活用することができなかった。

・他者とのかわりを通じて、自分の行動を振り返られるよう仕向ける。児童同士のやりとりをまずは見守り、学ばせるほか、時には場面ごとに感情について解説することもある。

・児童の心の育成のための指導が、よくなされている。挨拶、返事などがしっかりとできている。いじめアンケートであがった案件は、当該保護者に知らせるべきではないか。

・多くの児童が元気に挨拶でき、特に6年生は気持ちの良い挨拶ができていて素晴らしいと思います。しかし、挨拶の声かけをしても黙って通り過ぎ、悲しい気持ちになることもありました。挨拶の大切さ気持ちよさが伝わるように、引き続き声をかけていきたいと思います。

・生徒指導への報・連・相が昨年度より意識的に行われているように感じます。実際に何か起こった際にも、管理職・学年・生徒指導と情報の共有ができました。

・集会や掃除、たてわり活動などで、上級生がいいお手本を示してくれていることで下級生が学び、自然と望ましい態度へとつながっていると感じる。

・児童情報共有が欠けていると感じることが多かった。学校全体で共通認識のもと、児童理解・児童指導を行なっていくためには、情報共有を密にし、向かって行く方向をしっかりと確認していくことが重要だと感じています。

・挨拶、掃除の取り組みは、素晴らしいと思います。継続は力なりです。

・清掃時間になると、低学年高学年を問わず取りかかりが早かった。また、無言清掃であったり時間いっぱい取り組んだりして担任の先生の普段の指導を感じた。

・生徒指導案件があった時に、すぐに知らせていただき、大変ありがたかった。生活委員会や児童会とあいさつ運動に取り組めたことで、成果が上がってきていると思う。

・学級経営や学年経営など、児童の実態や日々の様子を観察しながら柔軟に対応してきた。また、学級力向上プロジェクトにも取り組んだが、年間を通しての取り組みは、時間的に厳しかった。

・生徒指導案件が多いが、様々な児童を多くの教員で情報共有しながら対応できているところがよいと思う。せっかく終礼でも共有する場があるためもっと活用してしていきたいと感じている。

令和7年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案

健やかな体

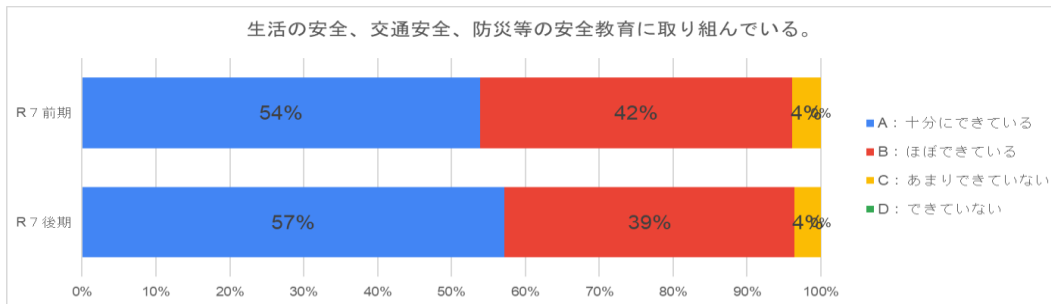
分析・立案担当： 萩原 鈴木太 和田

良い点		
<p>・安全教育については、避難訓練、地区児童会や登校班指導、生活指導を中心に、丁寧に行うことができている。</p> <p>・チャレンジタイムを計画し、組織的な体力作りに向けて全校体制で機会を設けることができている。</p>		
課題点	改善策	取り組み
<p>・基本的な生活習慣の育成をより図っていく必要がある。</p> <p>・運動に主体的に取り組もうとする児童の割合を増やしていく。</p> <p>・暑さによる熱中症への危険が増している。健康への意識を高めつつ、運動の機会を確保する。</p>	<p>・児童の生活習慣の基礎をつくるために様々な家庭事情を鑑みながら、呼びかけや情報提供に努める。</p> <p>・多様な動きについて、興味が湧くような運動に全校で親しみ、運動する機会を増やしていく。</p>	<p>・SCやSSW等専門機関とも相談しながら、家庭の実態に合わせて呼びかけや情報提供をする。</p> <p>・体育委員会が主導になり、様々な運動に児童が主体的に取り組めるよう、動画等で呼びかけたり、チャレンジタイムに取り組む。</p>

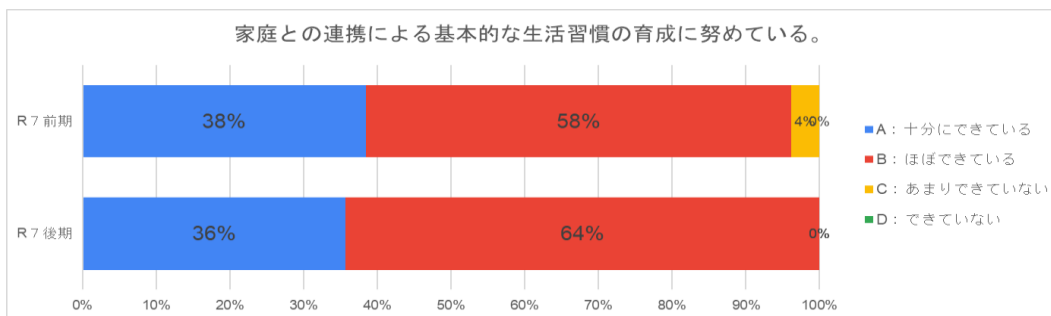
以下は後期自己評価後に記入

成果	課題点	次年度の方向性（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジタイムの実施や様々な体育的行事を設定し、運動の機会を設けることで、運動の習慣化に向けて取り組むことができた。 ・防災訓練を通して、児童の防災意識の向上に努めるとともに登校班指導など日々の指導を細かく行うことで、児童の安全への意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みによって児童の運動能力や意欲の向上が見られるが、行事への取り組みに多忙さを感じる部分もある。 ・家庭への運動への呼びかけなど、学校外での運動の機会を設けられるような取り組みをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事と教育課程のつながりを見直し、教育課程の入れ替えを行ったり、授業の冒頭部分だけ行事の種目を行ったりと授業の組み立て方を工夫する。 ・チャレンジタイムについては、内容を行事に偏らないように工夫したり、回数を見直したりしながら実施していく。

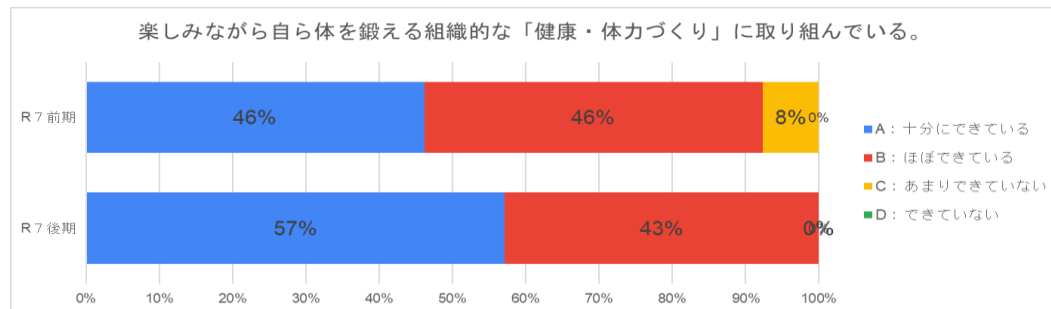
健やかな体1



健やかな体2



健やかな体3



健やかな体 課題・意見（前期）

- ・健全な心は健全な体に宿る。運動が苦手な児童に対してもできることを褒め、できないことは励ます声かけに努めている。
- ・チャレンジタイムの体育的活動の継続により、集団行動や身体能力の向上が図られている。
- ・家庭によっては学校の活動に対して非協力的な家庭もあり、登下校の安全や家庭での生活、持ち物などが整わないことがある。
- ・近年、暑さのため、外遊びができないときも増え、室内で過ごす児童が増えてきていると感じる。
- ・雨の日や熱中症対策の休み時間の過ごし方が気になります。クロームも禁止になっている中で、教室で手持無沙汰な児童も多くいるので工夫していきたい。
- ・個別の対応が必要な児童について、保護者との連絡もつきにくく思うように継続した取り組みができていない。保護者対応について、継続して組織的に関わっていきたい。

健やかな体 課題・意見（後期）

- ・家庭との連携を密にして、できることを日常生活でも取り入れている。一つ一つの動作にも声掛けをするほか、ささいなことでもできたら褒めることでやる気につなげている。できたことを保護者に伝え、家でも褒めてもらうようにしている。また、家でできたことを教えてもらい、学校でも褒めている。
- ・体づくりの活動がたくさんあり、よい。体を動かすことが苦手な児童にとっては、大変。
- ・体育的な行事や取組を子どもたちは前向きに目的をもって行っていると思います。反面、持続可能な学校づくりと言われたときに、それらの行事は過渡期に入っているのかもしれないと感じます。
- ・運動会・マラソン大会・なわとび大会など、児童が目標に向かって取り組むことができていた。中休みや昼休みも外遊びをしている児童が多くみられる。
- ・教科体育やチャレンジタイムを通して、様々な運動に取り組むことができた。しかし、低学年生の運動経験の希薄さは否めない。
- ・チャレンジタイムや中昼休みなど、児童と共に身体を動かすことでコミュニケーションを取ることもできたので、今後も継続していただきたいです。
- ・縄跳びやマラソンなど、取り組むことに大きな意味はあると感じる。しかし、教育課程を圧迫している部分もあると思うので、難しいところもあると感じる。
- ・子どもの体力低下や気候への配慮、働き方改革の推進などで、体育行事の精選が必要だが、こういった行事を行うことの良さも感じるため、内容の見直しはしつつ継続できたらよいのかなと思う。

令和7年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案

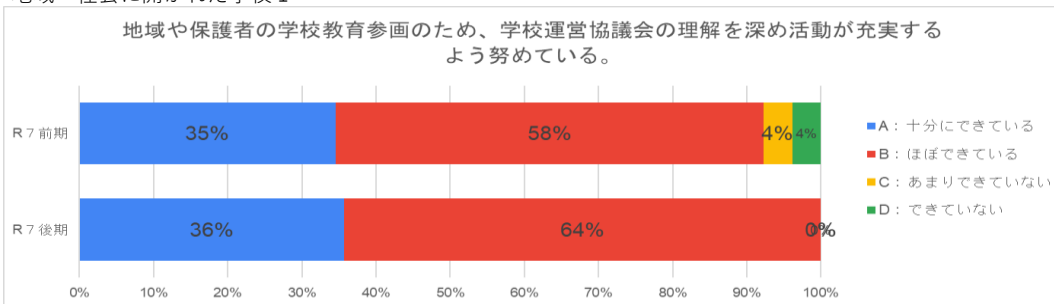
地域・社会に開かれた学校

分析・立案担当： 校長 教頭 岩下 各学年主任

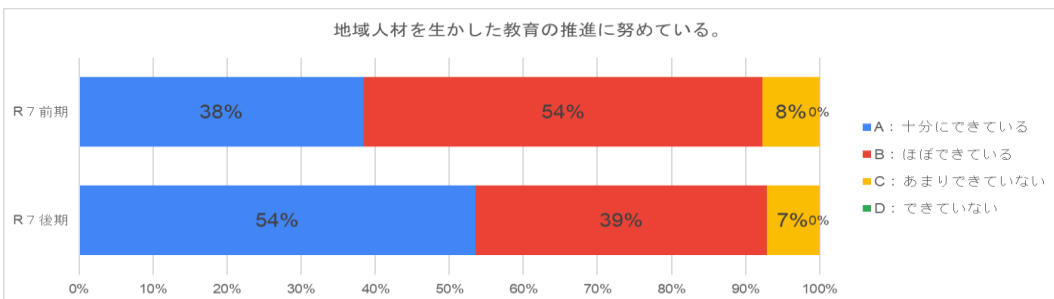
良い点		
<p>・教育ファームの管理人、協力者の多大な支援、いきいき学習、エコース学習の計画的な実施などで、「地域人材を生かした教育の推進」など、どの項目でも昨年度の同時期と比べて評価が大幅に高くなっている。</p> <p>・安心安全な学校・地域づくりのため、3年の自転車教室での保護者ボランティア、生活指導部の定期的な登校指導、地域の方による毎日の登校指導など保護者や地域との連携に努めることができています。</p>		
課題点	改善策	取り組み
地域人材を生かした教育活動のさらなる推進。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材のニーズの確認。 ・教育ファームを持続可能な活動にしていくための工夫、後継者の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CS委員に地域人材を紹介してもらう。
さらに保護者、地域の方、CS委員の方に学校に来ていただく機会を設定し、地域に学校を開いていくという姿勢を示す。	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも学校に来ていただく機会を設ける。また、CS便り、ながら見守りポスターなど学校の様子を伝えるお便りを回覧する。 	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕作業、運動会、マラソン大会など、可能な範囲で地域・保護者・CS委員に来校してもらい、様子を見てもらい、気づいたことなどを言ってもらいたい。

成果	課題点	次年度の方向性（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育ファームの管理人、協力者の数も増え、野菜栽培だけでなく、生活科の授業にも関わっていただくことができました。 ・乙女高原学習、いきいきの事業等の活用も浸透してきている。 ・マラソン大会前の落ち葉掃きボランティアでは、多くの保護者に参加していただき、職員の負担を軽減することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な教育ファームの運営。 ・奉仕作業等への保護者の協力意識の二極化。 ・地域の人的、物的資源の洗い出し。 ・学校における教育活動の発信力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉掃きだけでなく様々な分野での保護者ボランティアの活用。 ・いきいき教育人材活用推進事業の継続的な活用。 ・ECHOES学習のさらなる推進委向け、地域人材、物的資源の活用。

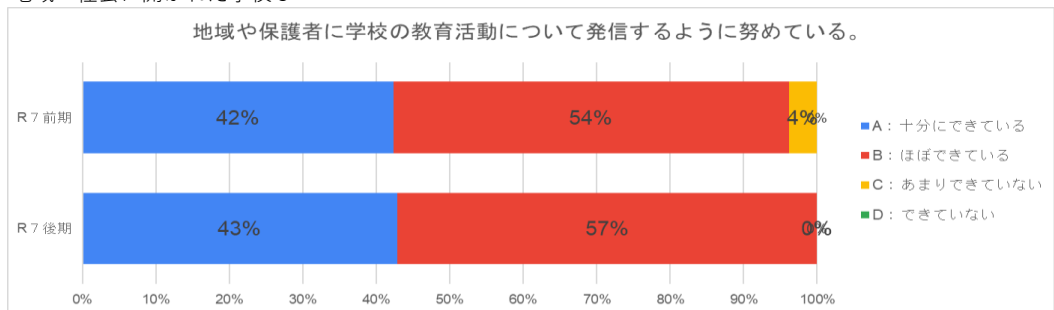
地域・社会に開かれた学校 1



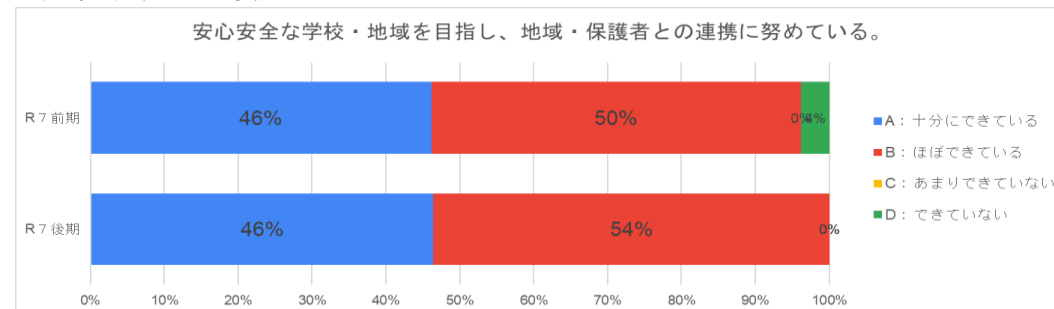
地域・社会に開かれた学校 2



地域・社会に開かれた学校 3



地域・社会に開かれた学校 4



地域・社会に開かれた学校 課題・意見（前期）

- ・教育ファームを管理してくれる方がいるのは、非常にありがたいです。来年も、継続できるのでしょうか。
- ・教育ファームの活動が大変活発になり、教育的意義も高く感じる。持続が課題である。
- ・今年度は、くさかべファームの取り組みでNPO法人の方々が協力してくださったことが大きな進歩だったと思います。
- ・2年生の農園にNPOが参加するなど地域との結びつきができてきている。継続や他の学年でも新らしく地域の力が借りられるといいと感じる。
- ・地域人材や地域教材の活用が児童の学習・活動にとってもいい影響を及ぼしていると感じる。
- ・児童による相手の目を見た積極的なあいさつが地域と学校をつなげる一翼になる。
- ・地域の方の協力、登下校の見守り、下校後の預かりなど、また学校への参加大変な児童の対応や学習サポートなどが進むとよい。
- ・6月28日は、学校開放日なのか授業参観なのか曖昧な感じがしました。授業参観的な雰囲気もあったので、服装がスーツ以外でということでしたが、スーツでもよかったです。

地域・社会に開かれた学校 課題・意見（後期）

- ・文科省が出している業務の3分類に基づいた分けたいなものが設定できるとよいと思います。
- ・2年生では、教育ファームの活動をNPOの方々と連携しながらできたことは、教師にとっても子どもたちにとって有意義であったと思う。一方負担感の大きさは否めなかったところもある。
- ・地域の人材を活用し、畑などご協力いただいている。登下校の付き添いなど、さらに地域との連携がとれていくとよい。
- ・日下部ファームや保護者による学校ボランティアなど、地域・保護者との連携や開かれた学校づくりが促進されたと思う。
- ・2年生の畑など地域の方々の協力のもと教育活動が展開されている。連絡調整などは大変だとは思いますが・・・。
- ・2学年生活科の野菜栽培に関して地域の方に指導を仰ぎ交流を深めたり、マラソン大会実施前落ち葉はきボランティアを募いだりと地域の方との交流が生かされた場面が多々あった。
- ・今年度は、野菜名人として地域の方と1年を通してつながりをもつことができました。来年度も継続できるとありがたいと思う。
- ・日下部ファームの活動を通し、栽培・動労体験だけでなく、野菜名人との関わりをいろいろな活動を通して行うことができ、子供たちの豊かな経験につながった。
- ・地域人材や地域教材の活用がたくさんできてきてよいと思う。

1学期の活動全体を通しての意見等

- ・2年生では、畑での野菜づくりの学習に取り組みましたが、今年度はNPOの力を借りることで、昨年よりも畑づくりや野菜の世話などの点で助けていただいてありがたいです。ですが、放課後の水やりなど負担感があることはぬぐえませんでした。
- ・在籍する交流クラスは波乱万丈な学期となった。人の心身を傷つけることは絶対に許されず、その際は厳しく指導すべきだが、力でねじ伏せることはその場のしごき。まずは児童や保護者と信頼関係を築くことが重要と考える。児童の背景を探ることも必要。これらの情報を教職員が共有すべき。また、学年において各種情報が少なく不安に感じたことがあった。
- ・新年度教員の変動もあり、多様な問題を抱えている児童や多様なニーズに対応するべく先生方が同じ方向に進んでいる事を感じます。
- ・全校集会などの折に、校長先生からいじめをゆるさないなどの方針が話されることによって、全校への意識化が図られてきていると感じる。
- ・本校は、支援が必要な児童が多かったり、保護者が児童に付き添っていたりするため、今一度どの児童にどんな支援をしているか、担任以外はどのような対応をするべきかの共通理解を図る場があると良い。
- ・教育ファームの大気さはわかるが、水道のない場所での畑仕事はとても大変である。毎日の水やりに加え土日にも水やりや除草に来なければならず、働き方改革の面からも厳しさを感じた。
- ・さらに行事の精選を行ったり、集会をなくし休み時間の確保をしたりして、児童が落ち着いて生活できるとよい。
- ・40分授業の取り組みはとてもよかったです。体育的行事が多い中、負担が偏っていないか検討が必要だと感じます。
- ・今後も継続して、職員間の連絡、情報共有をきちんと行い、連携しながら児童の指導にあたっていきたい。

1年間の活動全体を通しての意見等

・先日、ニュースで見かけた職員会議15分という記事。職員会議で話し合う大切なこともたくさんありますし、議論しておかなければならないこともあります。どうしても会議が長くなってしまうことが多いと感じます。提案の資料に、事前に協議したいポイントなどを書き入れておくことや内容によっては主任者会議などを事前に開くなど、会議の時間を短くしつつも、深まりのある会議にできるといいと思います。

・学校教育目標にむかって職員間で連携しながら、指導にあたることができました。

・学校全体で話し合いがよくされていて、行事や課題への取り組みなどがチームとして動いている。児童が落ち着いて学習し生活できる場づくりが行われている。

・何かあると管理職や教務主任が力になってくださることに心強さを感じていました。組織として対応しているということを実感できる1年間でした。

・一人ひとりの子どもたちへのきめ細やかな声かけ、困難を抱える子どもたちへの支援や指導、先生方が子どもたちのために日々がんばっている姿をたくさん見せていただきました。忙しい毎日ですが、子どもたちのためはもちろん、自分たちのためにも、いろいろな立場の教職員が助け合い声をかけあっていくことの大切さを感じた1年でした。

・それぞれのポジションで責任を持って行われていると思いました。

・大規模校ならではの意思の疎通や同じ歩調で進む事の大変さが大きいと思うが、助け合いながらまた簡略化できる事を模索しながら日々教育にあたっていて、頭がさがる思いでした。

・職員一人一人にそれぞれ事情があり、その中で時間をやりくりして精一杯業務を行っている、ということの理解が進むと良い。効率よく仕事をし、退勤時間を早めることを推奨する職場の雰囲気になると良いと感じる。

・本校では、児童に対し、いじめは絶対に許されない行為である。と指導しているが、教職員間の言動において、その指導と整合しないと受け取られかねない事案が繰り返されている。管理職からの指導が行われているにも関わらず、改善が見られない現状は、個人の問題を超え、学校としての組織的対応の限界を示していると言わざるを得ない。このままでは、児童に示している価値観そのものの信頼性を損なう危険性がある。

・働き方改革の難しさがある。他校の話も聞く中で、月に1～2度定時退勤日を設けるなど、学校全体での取り組みをしていけたらと感じている。

・学年間や特支、通級との連携などを通し、子供たちの健全な育成に努めることができました。

・管理職の先生方が、以前からある取り組みや流れを常とせず、今の教員や児童の実態に合った形に柔軟に対応して下さる環境が非常にありがたいと感じました。相談に乗って下さったり、アドバイスを下さったり、非常に肯定的で前向きにお話をして下さったので、日ごろの職務に前向きに取り組むことができました。

・特別な支援を要する児童が多いため、支援の先生方の力を借りることが多くある。どうしても一人では、全員の状況を把握して、配慮することが難しいため、どんなときでも対応して下さって本当に助かっている。ただ、児童の情報交換や支援体制について共有する時間を取れたらよいと思う。また、急な時程変更等が校内教職員だけでなく、支援の先生方にもすぐに伝わる仕組みがあると良いと感じている。

令和7年度 日下部小学校の教育
保護者アンケートの結果

□実施日及び方法

令和8年2月18日～2月24日（3月1日まで実施期間追加）

フォームによる回答

□回答数

項目1～4番（児童についてのアンケート）児童数で実施：252名（回答率 70.4%）

項目5～18番（学校についてのアンケート）家庭数で実施：159名（回答率 57.8%）

□アンケート結果の表記について

○各項目のグラフは、パーセントで表示されています。

○児童アンケートも関連項目とともに併記し、比較検討しました。

○自由記述によるご意見について

個人情報に関わる内容に配慮した上で、できるだけ原文の趣旨が損なわれないようにし、全家庭配付に配慮した表現にさせていただき、また、同じ内容のご意見はまとめて載せさせていただきました。

□アンケート結果から

全ての項目で、「（「そう思う」「ややそう思う）」が約60%以上となる肯定的な評価をいただきました。課題となる評価（「あまり思わない」「思わない」）については、わずかな割合であっても、自由記述欄へのご意見と合わせ、改善に向けた取組を進めていきたいと思っております。アンケート結果から読み取れた課題について、学校教育目標に関連付け、次頁以降のように今後の取組の概要を示しました。

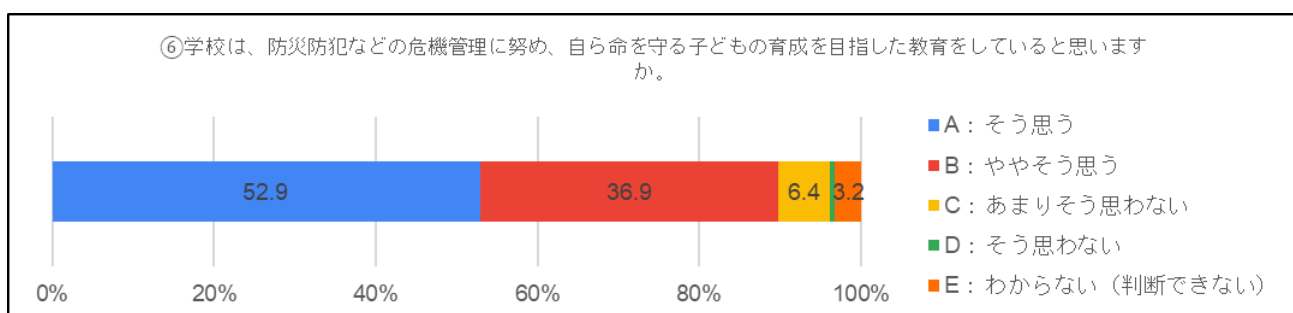
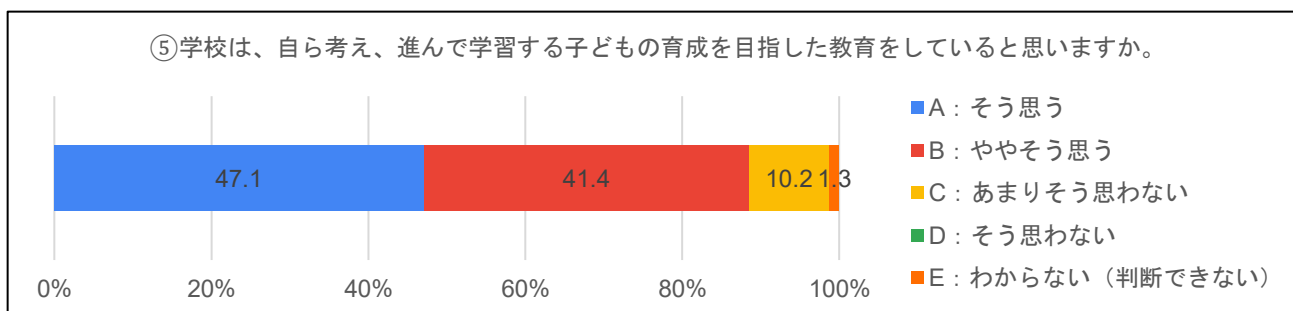
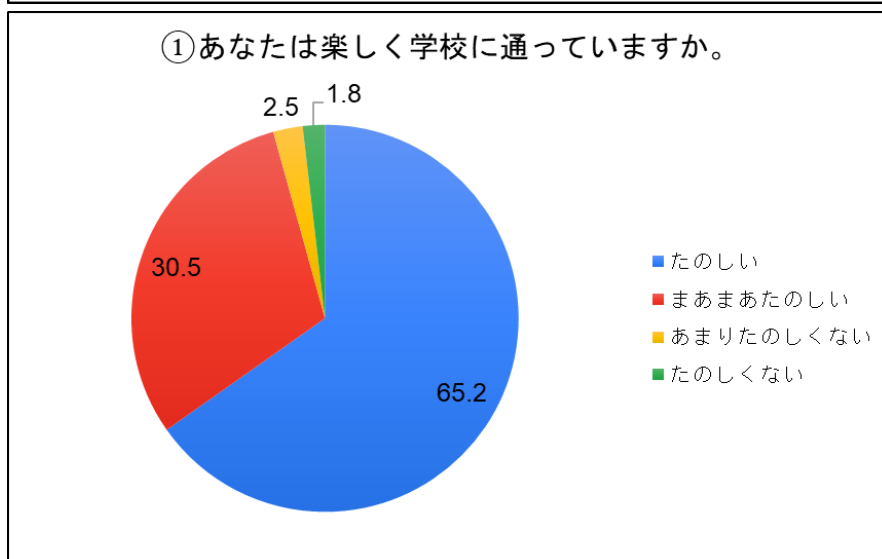
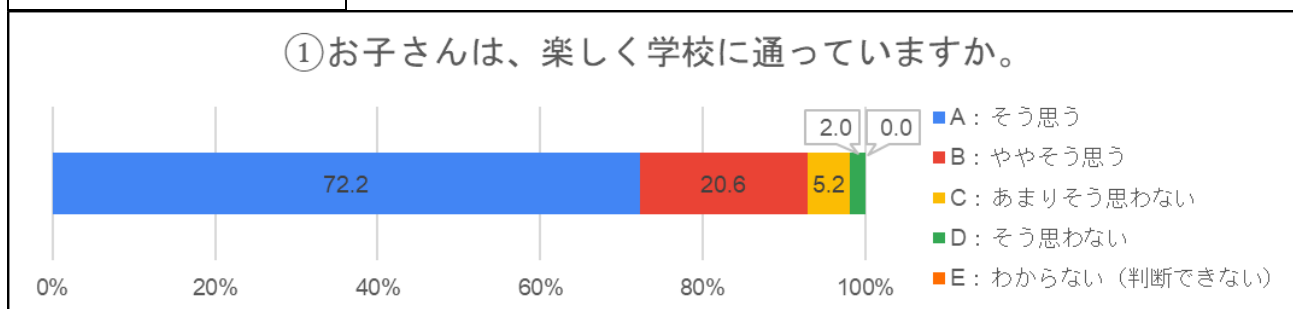
〈結果を受けての今後の取組の概要〉

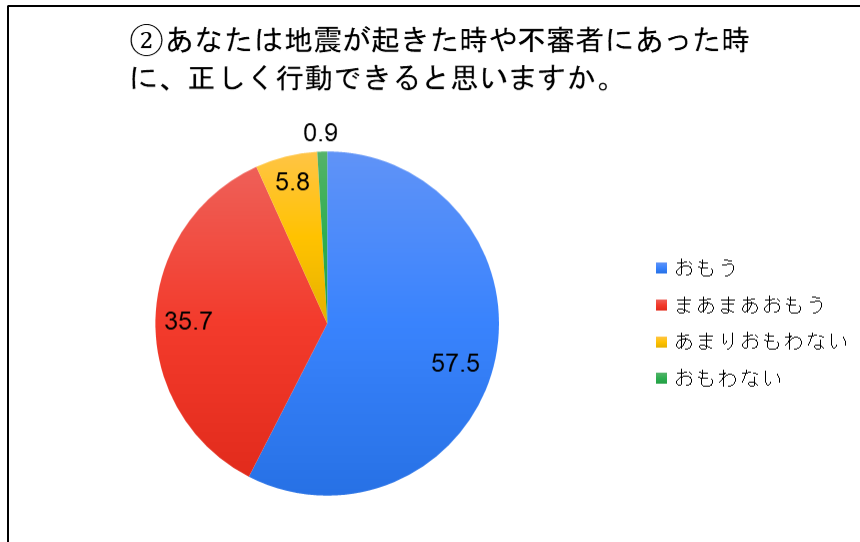
学校教育目標

『自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成』

〈アンケート結果 帯グラフは保護者 円グラフは児童〉

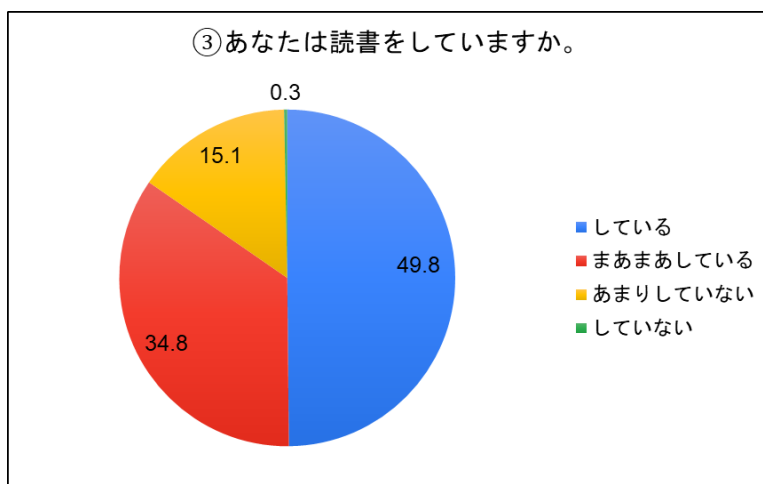
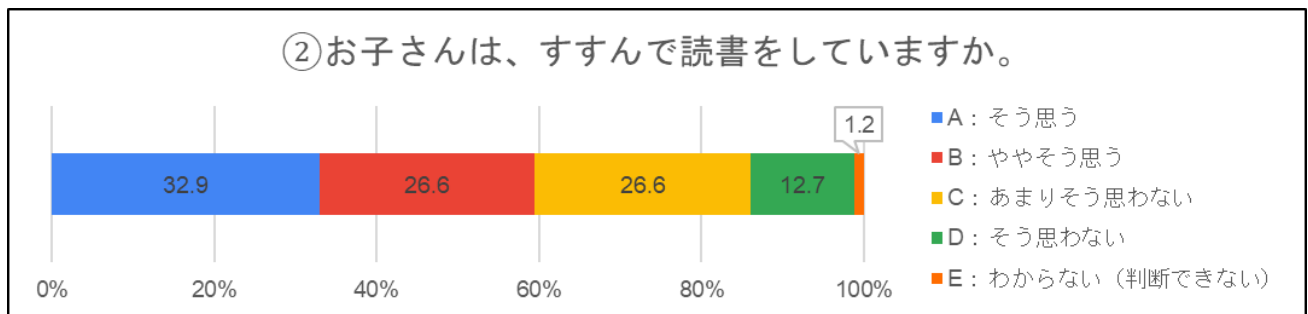
学校経営・組織に関わって 保護者項目：①⑤⑥ 児童項目：①②



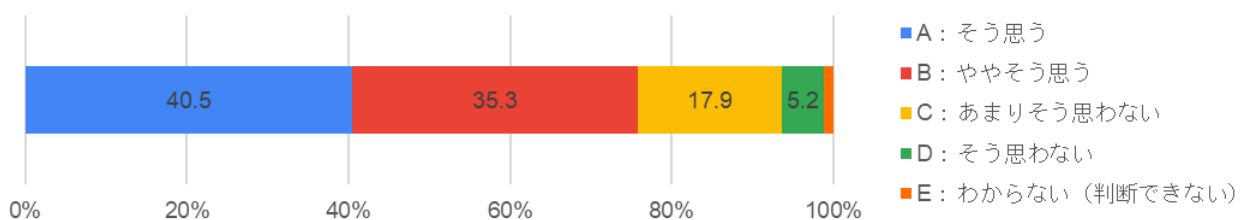


どの項目も肯定的な評価が85%を超える結果となっています。全体として、グランドデザインに則り学校教育目標達成に向けて前進しているということができると考えられます。しかも、保護者も児童も「学校が楽しい」の項目では90%を超える高い数値でいるのは、グランドデザインそのものが本校に適したものであるということができると考えられます。今後も、児童の共感的理解に努め、愛情と信頼に基づく教育活動に努め行きたいと思っております。今年度は、地震や火災を想定した避難訓練を4回、シェイクアウト訓練を1回、さらに防犯訓練を昨年度の反省を生かし、例年より早い5月に実施しました。しかし、昨今、様々な自然災害等が発生しています。いかなる場合でも、災害に際しまず「自分の命は自分で守る」ことができるよう、これからも様々な場面を想定した避難訓練等をなるべく早い時期に行っていきたいと思っております。今後も学校目標達成に向けて、力強く歩みを進めて参ります。

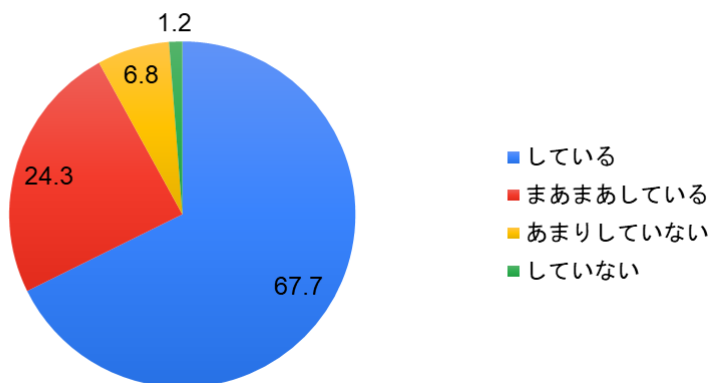
確かな学力に関わって 保護者項目：②③⑦⑧ 児童項目：③④⑤



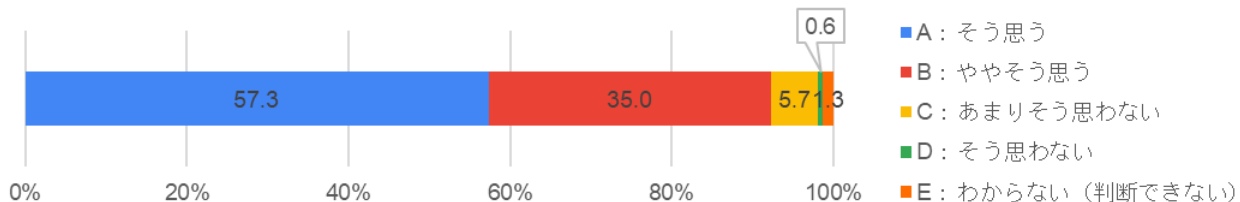
③お子さんは、家庭学習（宿題・10分読書・自主学习）に進んで取り組んでいますか。



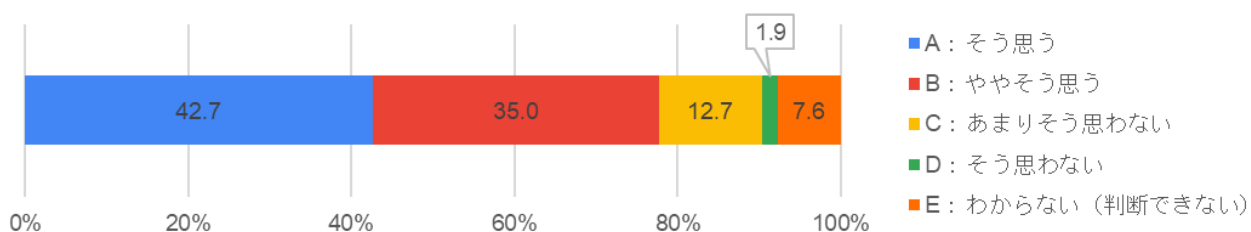
④あなたは家庭学習(宿題・10分読書・自主学习)をしていますか。



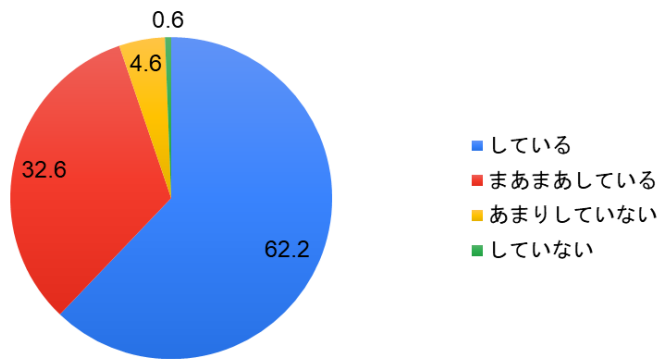
⑦学校は、積極的にICT機器の活用を進め、確かな学力の育成に努めていると思いますか。



⑧学校は、個に応じた教育の充実のため、職員同士が連携して教育を進めていると思いますか。



⑤あなたは授業で、自分で考えたり、進んで学習に取り組んだりしていますか。

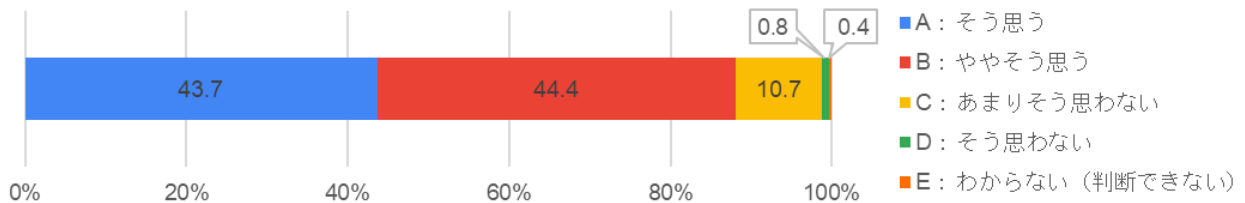


どの項目についても保護者は約 60%以上、児童については 80%以上の肯定的な評価となっています。特に児童の④の「あなたは家庭学習（宿題・10分読書・自主学習）をしていますか。」の「している」「まあまあしている」の割合が90%以上と高くなっています。これも保護者の皆様の協力のおかげだと思います。また、個に応じた教育の充実のため職員同士が連携して日々の学習を進めている成果が見て取れます。家庭学習の習慣の確実な定着のために、今後も様々な取り組みを家庭と連携しながら進めていきたいと思ひます。

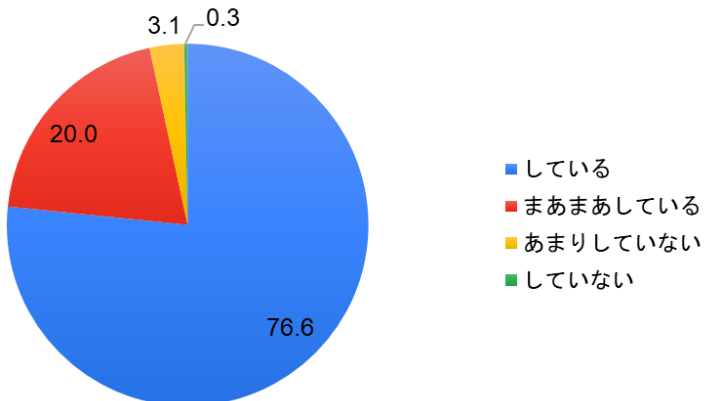
豊かな心・望ましい集団に関わって

保護者項目：④⑨⑩⑪⑱ 児童項目：⑥⑦⑧⑨

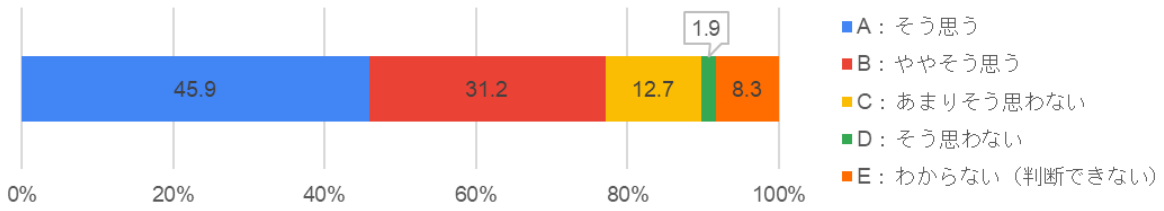
④お子さんは、あいさつや返事などがしっかりできますか。



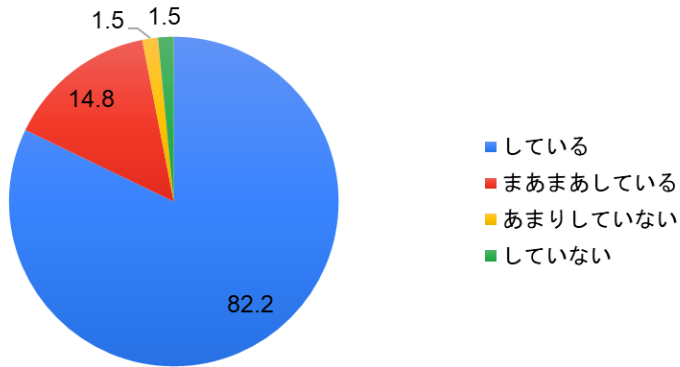
⑥あなたはあいさつや返事をしっかりしていますか。



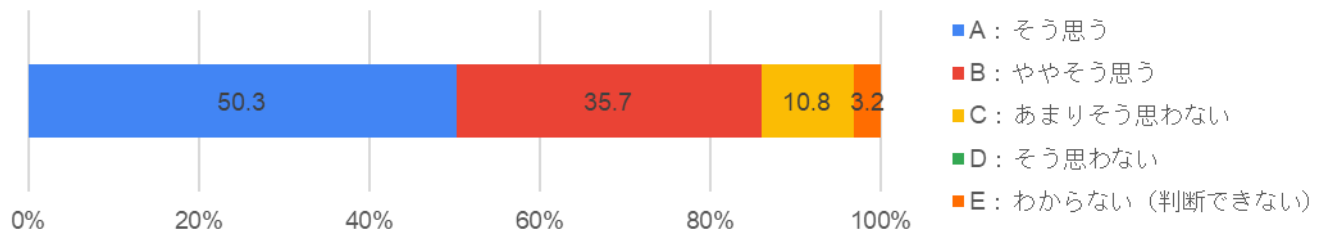
⑨学校は、いじめの早期発見に努め、いじめをなくすための指導に努めていると思いますか。



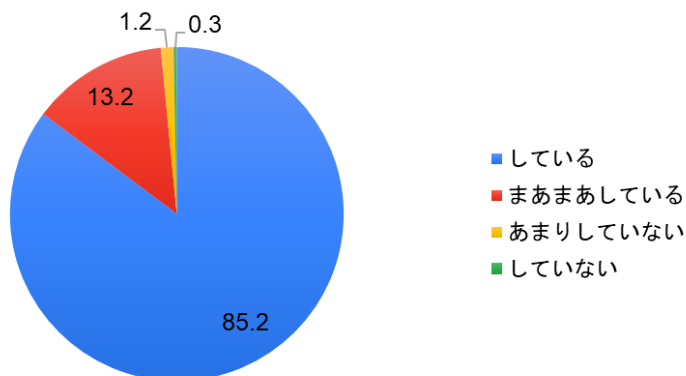
⑦あなたはいじめをせず、友だちと協力したり、仲良くしたりしていますか。

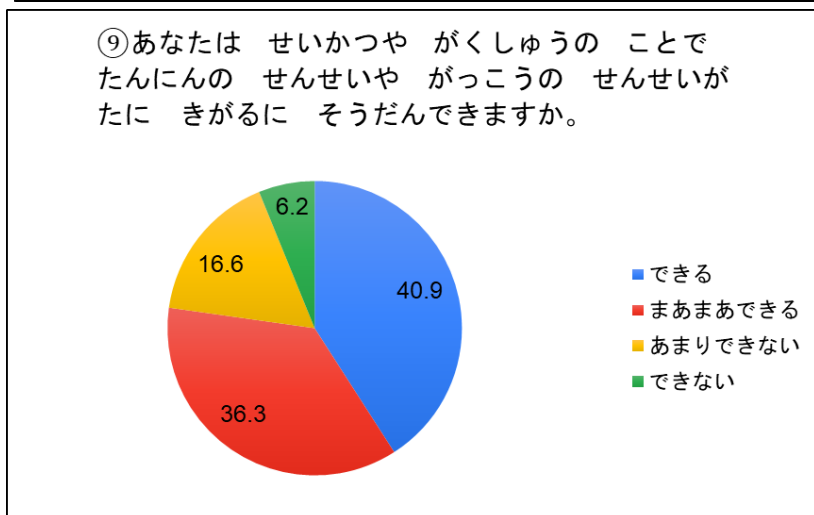
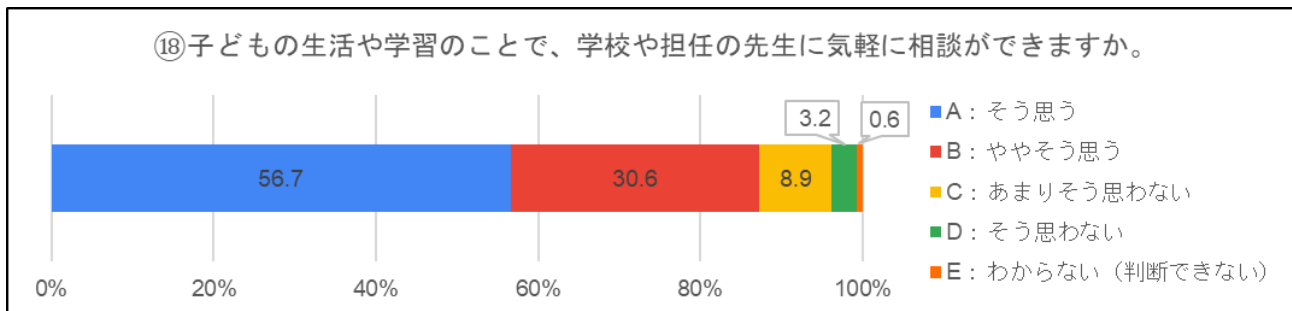
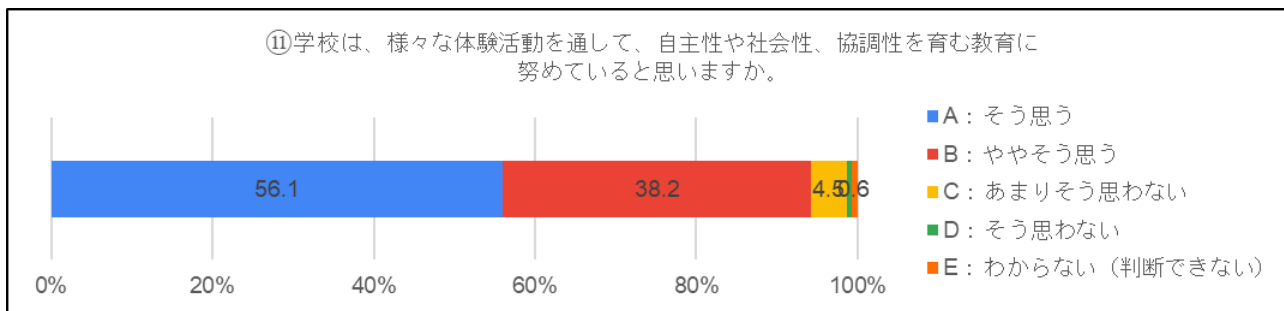


⑩学校は、思いやりの心や公德心を育む道德教育の充実に努めていると思いますか。



⑧あなたは交通ルールや、学校の決まりを守るようにしていますか。

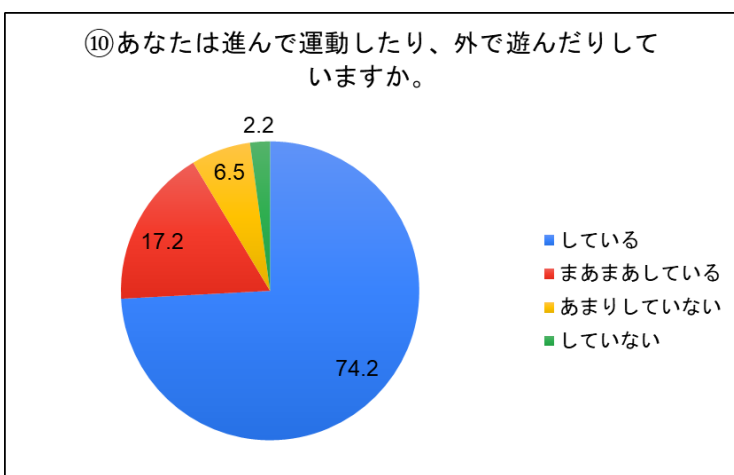
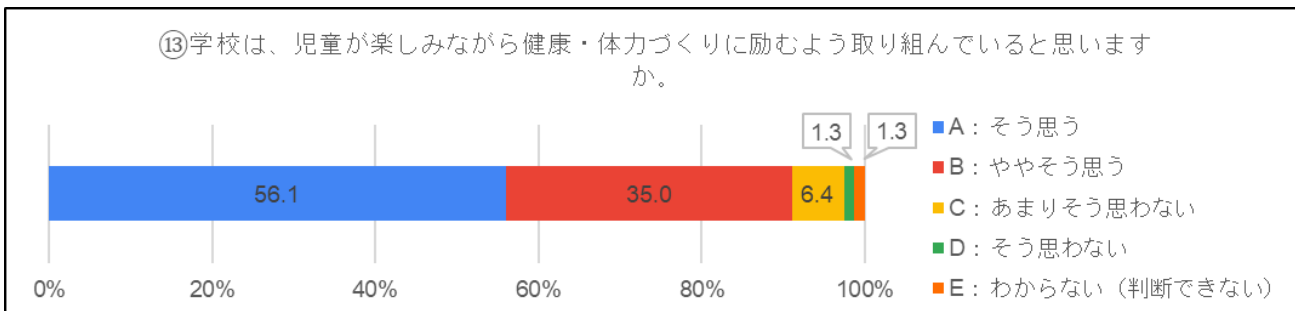
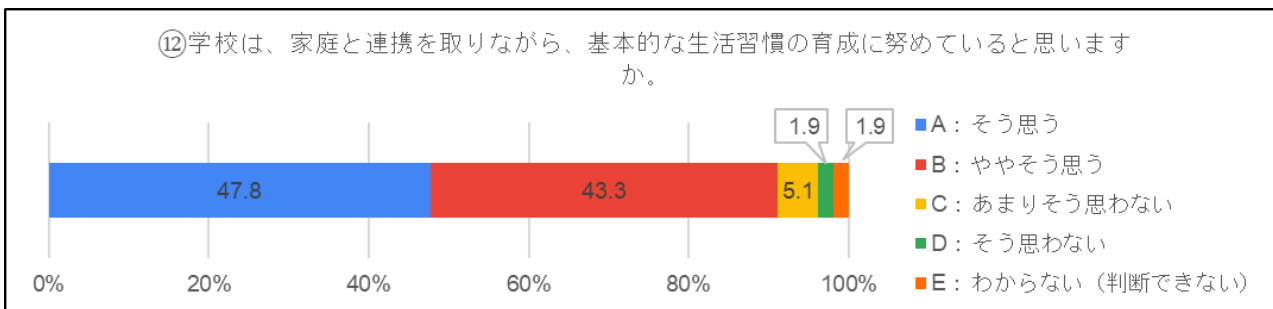




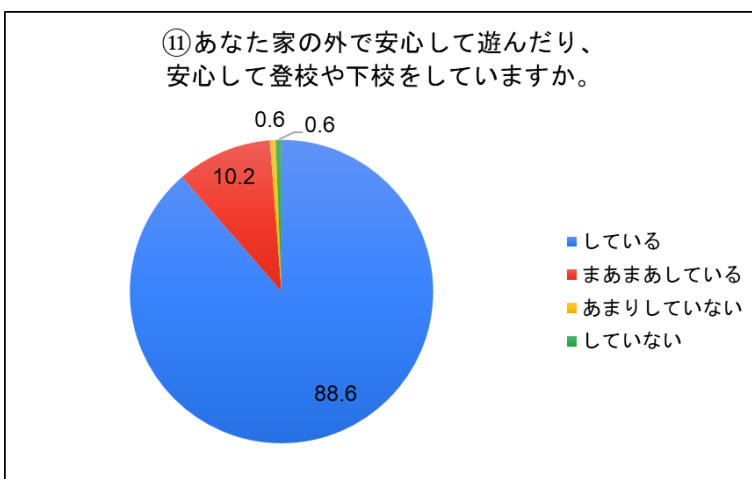
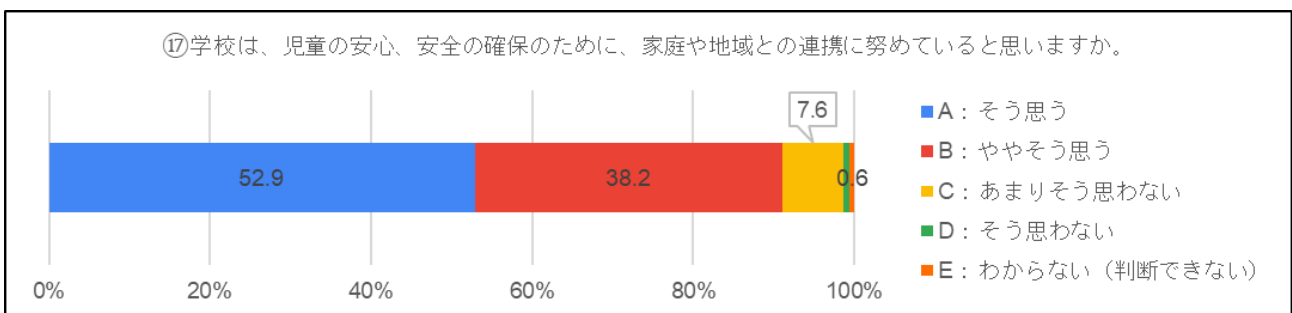
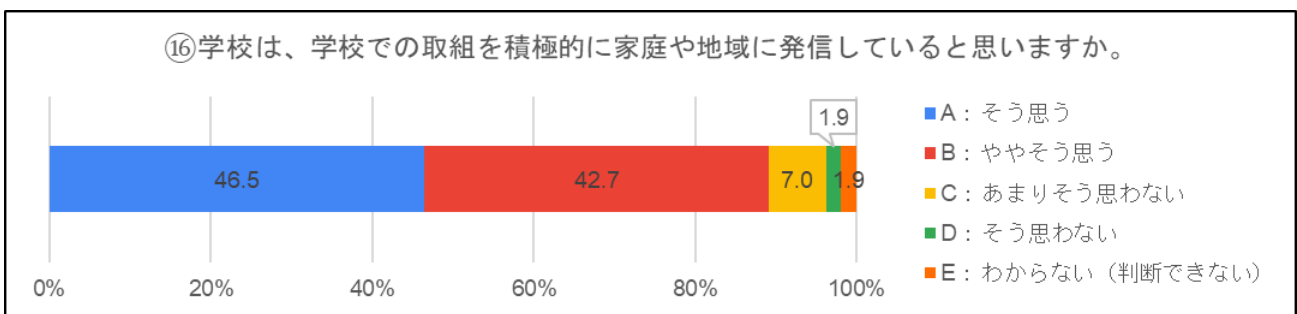
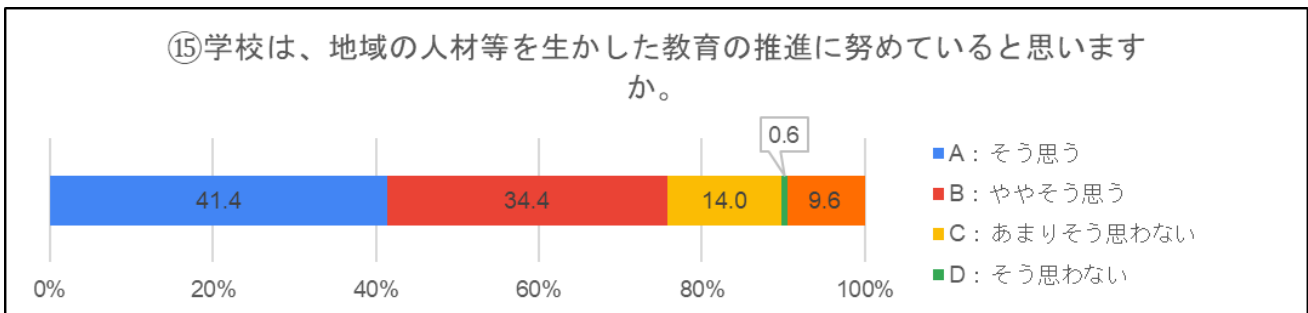
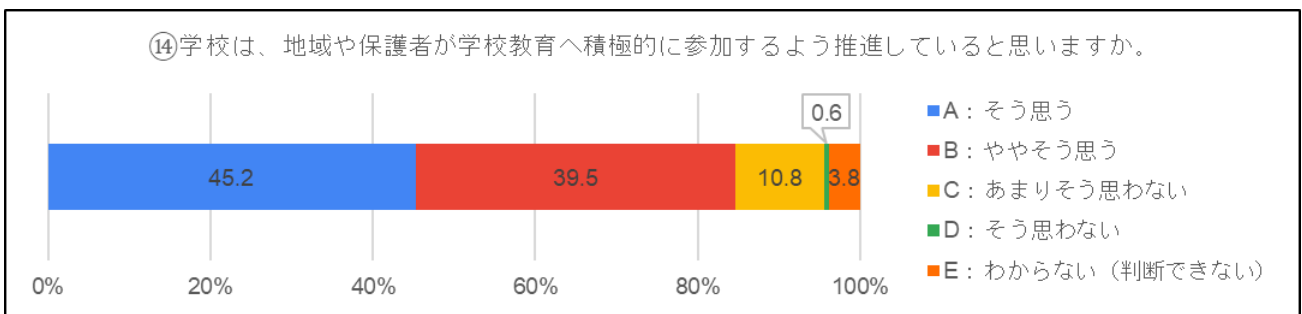
どの項目についても、保護者、児童も75%以上の肯定的な評価となっています。特に保護者の項目⑱については、他の項目と比べ「そう思う」の割合が高くなっています。家庭と学校が全体として良好な関係を築くことができていることが分かります。児童を中心とした家庭と学校の両輪で児童の確かな成長につながります。職員間での情報共有を適切に行いながら、今後も保護者の皆さんが気軽に相談できるように努めて参ります。一方で、児童の項目⑨は他の項目に比べ「できる」の割合が低く、「できない」の割合が高くなっています。担任だけでなく、学校の職員すべてが児童の先生であるという姿勢を持ち、カウンセリングマインドを大切にしつつ、児童に関わっていきたいと思います。また、児童の⑥も昨年同様「している」「まあまあしている」の割合が高くなっています。児童会では今年、「友達・先生・地域の人に気持ちよいあいさつをしよう」を目標に『あいさつのフラワービンゴ』に取り組んでいます。地域の方や保護者からも、「以前に比べてみんなあいさつが大きな声でしっかりとできるようになっている」という声を何件もいただいています。児童会を中心に校内だけでなく、地域の方々にも進んであいさつをしようという「あいさつ運動」の成果が出ていると思います。今後も、気持ちよいあいさつができる日下部小児童を目指していきたいと思います。

健やかな体に関わって

保護者項目：⑫⑬ 児童項目：⑩



どの項目についても、児童、保護者ともに90%以上の肯定的な評価となり、全体的に昨年度より肯定的な回答が増えました。児童の項目⑩では、「あまりしていない」「していない」の割合も昨年度より減っています。休み時間にも校庭で元気に遊んでいる児童の姿がよく見られます。また今年も、毎週木曜日にはチャレンジタイムで楽しみながら体力アップができる取り組みを続けています。マラソン大会も大勢の保護者の協力のもと無事開催することができ、参加した児童が全員無事完走することができるなど、体力が向上している様子がうかがえました。運動会も併せて体育的な行事への参観ができたり、当日までに家庭でも自発的に練習する児童の姿をご覧になったりした保護者が多かったのではと思います。将来にわたる健康的な体を育む上で、子どもの頃の運動や体を使った遊びはとても重要です。これからも、家庭でも運動や外遊びの推進にご協力ください。



どの項目についても、児童、保護者ともに75%以上の肯定的な評価となりました。今年も、授業参観や土曜参観なども計画的に行うことができ、運動会も大勢の保護者の皆さんが来校していただきました。学校運営協議会の活動として、ながら見守り活動への継続的な協力を継続して地域にお願いしています。こうした地域への働きかけがあったことも、児童の項目⑪の結果からわかるように、地域で児童が安心して過ごすことができていることにつながっているのではと思います。また、保護者の項目⑮については、「そうおもう」の割合が昨年度と比べて高くなりました。2年生を中心の野菜づくりをしている教育ファームでは、今年からNPO法人農村都市交流センターの方々の協力を得ることができました。土づくり、苗植え等野菜作りのコツだけでなく、水やり、草取りなどもしていただくことができました。また、生活科では授業づくりにも関わっていただきました。2年生の児童はみんな、野菜作り名人と言って慕っていました。また、今年も多くの学年で「書写指導」「合唱指導」「乙女高原学習」などで地域人材を活用した授業等を行っていることが⑮の結果につながったと思います。今後も地域の人材を積極的に教育活動に活かしていくとともに、保護者の皆様にも、自転車教室などの各学年の活動、マラソン大会前の落ち葉掃きボランティア、日常的な教育ファームの草取り等に積極的にボランティアとして関わっていただけるような取り組みもしていきたいと思います。必要な内容については、さらに積極的に情報発信していくことで、地域・保護者とともにより良く児童の育成が計られるよう、地域・社会に開かれた学校の推進に努めて参ります。

その他、自由記述では、これまでの本校の教育に対し、多くの励ましのお言葉をいただきました。職員が一丸となり、知恵と工夫を絞って日下部小児童の学びを前進させたことを評価していただきました。これからも、全力で本校教育の充実に向けて取り組んで参ります。一方で、課題点も挙げていただきました。改善すべき点は改善に努め、学校と保護者の連携をさらに高めていく中で、児童一人一人の豊かな学校生活をより確かなものにしていきたいと思います。

自由記述

- ・日下部小学校だけではないかもしれませんが、決まりなら仕方がないと思いますが、ランドセルが重くてびっくりすることがあるので、クロームブックを毎日持ち運びする必要はあるのかな…と考えることがあります。
- ・先生方の日頃からのきめ細やかな指導に感謝いたします。
- ・先生によって、10分読書や自学への意気込みが違うので、この学年の時は読書たくさんしたけど今年は全然学校から言われななどありました。自主的にはしますが、それでも毎日の習慣づけのため10分読書をもう少し強化して欲しいです。
- ・いつも丁寧に指導していただきありがとうございます クラス替えのタイミングがいつも不安になってしまいますが寄り添っていただきありがとうございます
- ・いつも丁寧なご指導ありがとうございます。楽しそうに学校の話をしてくれ、充実した日々を過ごせているのだと感謝しております。
- ・いつもご指導ありがとうございます。子どもたちから見て、何か伝えても聞く耳を持たないで、自分の意見を押し通そうとする先生が、一部いるように思います。子どもたちが、納得感を持って生活できるように、先生たちには接してもらいたいです。
- ・先生方が、子ども一人ひとりを本当によく見てくださっています。
- ・校長先生が毎朝歩道に立って登校を見守っていらしたり、各教室や廊下などで、生徒たちによく声をかけてくださる姿が印象的で非常に暖かい気持ちになります。また担任の先生が一人一人をよ

く見ていることや、勉強だけでなく心のケアも大切にしてくださり、保護者としてとても有難く安心して預けることができます。

- ・いつもお世話になっています。以前インフルエンザで5日間欠席し、授業を受けられないため心配していましたが、空いた時間に担任が欠席した児童のために補習を行ってくださりとても助かりました。個々の学習についても、いつも手厚く見てくださり感謝しております。今後ともどうぞよろしくをお願いします。
- ・担任により指導力の差があり過ぎます。1年間非常に残念でした。
- ・とても充実していると思います。
- ・子供が係の仕事をしているときもう一人の係の子が一切仕事をしなかった。それに対して担任がなにも言わなかったそうです。結局次の係の変更まで1度も仕事をしなかった。自主性を重んじるのと放置は違うと思う。
- ・個に応じた教育の充実のため、職員同士の連携という部分は、中々見えてないところがあると思います
- ・【計算・漢字スキルや宿題等について】先生によって添削の仕方に差があるように感じます。生徒自身で答え合わせをすることも大切ですが、時には担任の先生から添削していただけますと、子どもものやる気に繋がりますので、お忙しいかと存じますがぜひよろしくお願いいたします。
- ・学習面で、担任が明確な指示をしていないのに、生徒の提出した物を否定、発表中にブツブツと否定的なことをその班にだけ言う。褒めた班も他の班も、似たような内容なのに1つの班にだけ否定的。提出物の半分を消すように言ってきたり、そんなに言うなら、初めから文字は何行くらいで、発表時間が何分で終わられるよう指示したら良いと思います。生徒のやる気を削ぐような教育は止めてください。他にもあり過ぎてかけません。
- ・給食当番を当番ではない子が、支援者として行っている事があると聞きましたが当番をやらなくても済むような指導では困ります。当番に責任を持ち、実践できるように、子供への教育、指導をお願いします。
- ・絵本を自分から進んで読まなかった一年生の息子ですが、小学校に入り図書室で、世界旅行をテーマにしたパスポート達成すると国旗のボールがもらえるというものに興味を持ちたくさん本を借りて読み感想を書くという姿が見られました。目的はボールかもしれけれども、楽しみながらそれをきっかけにたくさん本を読もうとする行動に繋がったことが親としてとても嬉しく思います！
- ・違うクラスとの学力差が酷いです。授業の質、宿題の量などクラスの格差が無いことを望みます
- ・学校では、挨拶に取り組んでいますが、毎朝、登校している子供たちに私から挨拶しても、返してくれない子が中にはいます。
- ・子どもの話だけからですが、特定の子の意見や機嫌が優先されやすい傾向にあるとのこと。特性によって対応が難しい事なのかもしれませんが、周囲の子がいつも我慢したり、イヤな気持ちになることがないように、配慮や対応をお願いしたいと思います。
- ・いつもありがとうございます
- ・学習面や健康面でも、アナログ学習が再評価されている動きがあると思います。デジタルはいろいろな場面で効率化が図れますし、メリットもあると思いますが、デジタルでの学習の定着に関しては疑問を持つところもあります。パソコンはすぐ使いこなせるようになると思うので、ぜひアナログ学習を大事にしていきたいです。休み時間などにクロムを使わない指導、賛成です。
- ・いつもお世話になっております。コロナ禍で中止になったままの、音楽集会を発表する学年の保護者の参観を、また再開してほしいです。ご検討のほど、宜しくよろしくお願いいたします。

